

タイヤ技術向上と 空気充てん作業研修

労働安全衛生法特別教育対応



「タイヤ空気充てん研修会」は
企業コンプライアンスの面からも
重要です

SSで従業員がこの講習を受けず、タイヤ空気充てんの業務中にタイヤ破裂などによる事故で死傷してしまった場合はその事業者が罰せられます。(6ヶ月以下の懲役もしくは50万円以下の罰金)また、事故が起きた場合、事業主が法令で定められた教育を行っていないかったとして、遺族や従業員から民事裁判(損害賠償請求)を起こされ、事業主が多額の和解金を支払った例もあります。

※労働安全衛生法第59条、労働安全衛生規則(昭和47年労働省令第32号)第36条

このタイヤ空気充てん業務特別教育は、
パンク修理などタイヤに空気を充てんする
作業を行うすべてのスタッフの受講が必要です。
SSに1名いれば良いという危険物取扱者の
資格とは異なりますのでご注意ください!



主催・全国石油商業組合連合会

SSで高まるタイヤ点検・販売の重要性

「ユーザーにとっての重要性」

いまのかーユーザーの最大の関心事は燃費です。車の燃費に最も影響のある整備はタイヤの空気圧です。さらにセルフSSの増加でタイヤチェックの機会が減少したことが、パンクの発生件数増加の原因とも云われています。

「SSにとっての重要性」

ハイブリッド車が当たり前となり、販売台数の多い軽自動車にもアイドリングストップ機構などを搭載した「エコカー」が乗用車の新車販売のほとんどを占める今、自然環境に優しく、経済性の高さが、まさにユーザーニーズです。こうした燃料油販売が減少する中、いかなるタイプのクルマでも必要なタイヤの点検・販売の重要性が増しています。



タイヤ技術向上と 空気充てん作業研修

[労働安全衛生法特別教育対応]

集合

[受付]

オリエンテーション

[開講式・講習の進め方・日程説明・注意事項]

タイヤ及びその組込みに関する知識①

[自動車用タイヤの種類及び構造 / 最新タイヤ動向とタイヤとSSのかかわり]

タイヤ及びその組込みに関する知識②

[タイヤのリムへの組込み及びその状況の点検の方法]

タイヤの空気充てん作業に関する知識

[圧力調整装置の種類・構造及び取り扱いの方法、空気圧縮機を用いてタイヤに空気を充てんする方法、安全囲い等の使用方法]

関係法令

[法令及び安全衛生規制中の関係条項]

テスト

実習・タイヤの組み立て

[タイヤのリムへの組込み及びその状況の点検の方法]

実習・タイヤの空気充てん

[圧力調整装置の操作 / 空気圧縮機を用いたタイヤへの空気の充てん]

質疑応答

テスト結果発表・講評・解散

